ワールド・フィンテック革命ファンド
（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし）

運用報告書（全体版）
第13期

（決算日　2024年12月10日）

（作成対象期間　2024年６月11日～2024年12月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資し、値上がり益を追求することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年６月11日～2028年６月９日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	為替ヘッジあり	イ．アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	為替ヘッジなし	イ．アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）の受益証券 ロ．ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	当ファンドの投資信託証券組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

◇SUZ0275220241210◇

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
お問い合わせ先（コールセンター）
ＴＥＬ　０１２０－１０６２１２
（営業日の９：00～17：00）
https://www.daiwa-am.co.jp/

<2752>
<2753>

為替ヘッジあり

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI AC World指数(税引後配当込み、米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2022年12月12日)	7,876	0	△ 8.9	12,905	△ 2.0	－	99.0	2,250
10期末(2023年６月12日)	8,179	0	3.8	14,035	8.8	－	99.0	2,200
11期末(2023年12月11日)	8,212	100	1.6	14,806	5.5	－	99.1	2,018
12期末(2024年６月10日)	8,255	50	1.1	16,987	14.7	0.0	99.3	1,775
13期末(2024年12月10日)	8,739	450	11.3	18,749	10.4	0.0	98.7	1,515

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について

（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：8,255円
期　末：8,739円（分配金450円）
騰落率：11.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期は、主として米国や欧州の株式市況が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）

年　月　日	基準価額		MSCI AC World指数(税引後配当込み、米ドルベース)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2024年６月10日	8,255	－	16,987	－	0.0	99.3
６月末	8,309	0.7	17,205	1.3	0.0	99.2
７月末	8,292	0.4	17,173	1.1	0.0	99.0
８月末	8,685	5.2	17,752	4.5	0.0	99.0
９月末	8,704	5.4	18,327	7.9	0.0	99.5
10月末	8,702	5.4	18,165	6.9	0.0	99.0
11月末	9,228	11.8	18,473	8.7	0.0	99.2
（期末）2024年12月10日	9,189	11.3	18,749	10.4	0.0	98.7

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について　(2024.6.11～2024.12.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

（指数は当作成期首を100として指数化しています。）

グローバル株式市況は、当作成期首より、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が高まったことなどから上昇しました。特に、高成長が期待されるＡＩ（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引し、2024年７月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし７月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに８月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国株式市況は、経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、９月中旬以降はＦＲＢが0.50％ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったことに加え、米国の雇用統計を受けて利下げ期待が高まり強い地合いのまま当作成期末を迎えました。欧州では、おおむね米国市場と同様の動きとなりましたが、10月中旬以降、小売やテクノロジー関連銘柄の決算発表結果が嫌気されたことなどから、11月末まで下落基調となりました。その後は、ＥＣＢ（欧州中央銀行）による利下げ観測を背景に上昇に転じ、当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）：アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマであ

る「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2024.6.11～2024.12.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

個別銘柄については、フランスの大手銀行ソシエテ・ジェネラルや欧州の決済サービス会社ネクシィを全売却し、トランプ次期政権の規制緩和の恩恵を受けると考えることから、ＪＰモルガン・チェース・アンド・カンパニーや金融サービス企業ブロックを新規に組み入れました。

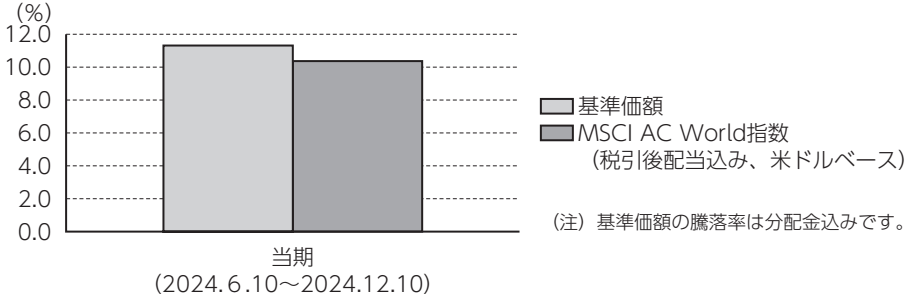
また、保有する実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目		当期 2024年6月11日 ～2024年12月10日
当期分配金（税込み）（円）		**450**
対基準価額比率	(%)	4.90
当期の収益	(円)	0
当期の収益以外	(円)	449
翌期繰越分配対象額	(円)	1,584

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.13円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益		0.00
(c) 収益調整金		688.57
(d) 分配準備積立金	✓	1,346.10
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)		2,034.81
(f) 分配金		450.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)		1,584.81

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）」の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

当ファンドが投資する「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

また、保有する実質外貨建資産については為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

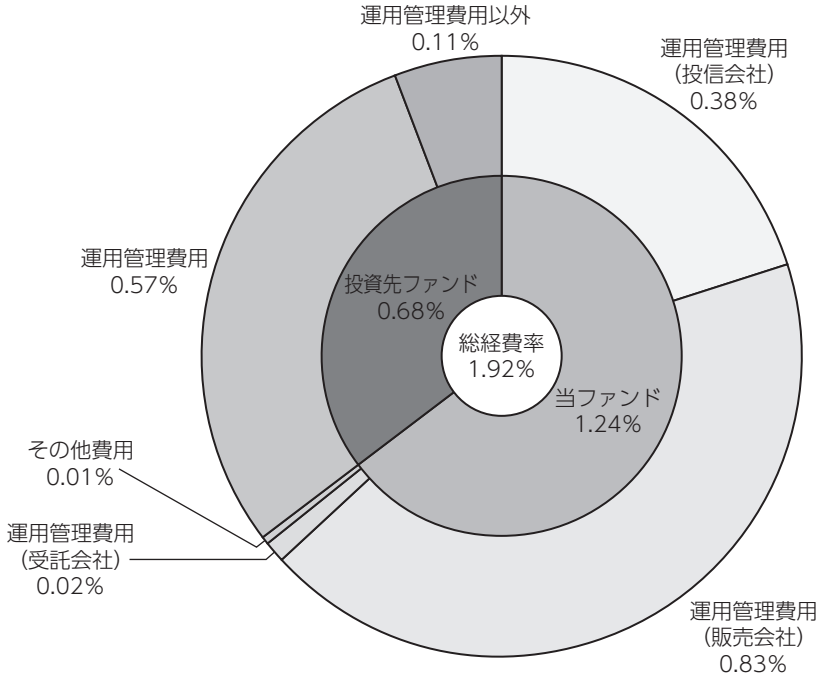
項　　目	当期 (2024.6.11～2024.12.10)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	53円	0.618%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は8,615円です。**
（投　信　会　社）	(17)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(36)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	54	0.622	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率（①＋②＋③）	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.11%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2024年６月11日から2024年12月10日まで）

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	－	－	394,050.995	458,000

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	1,227,304.468	1,495,347	98.7

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,495,347	92.4
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	123,169	7.6
投資信託財産総額	1,618,518	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	**1,618,518,038円**
コール・ローン等	123,169,277
投資信託受益証券(評価額)	1,495,347,763
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	**103,320,188**
未払収益分配金	78,018,991
未払解約金	14,799,016
未払信託報酬	10,432,409
その他未払費用	69,772
(C) 純資産総額(A－B)	**1,515,197,850**
元本	1,733,755,359
次期繰越損益金	△ 218,557,509
(D) 受益権総口数	**1,733,755,359口**
１万口当り基準価額(C／D)	**8,739円**

＊期首における元本額は2,150,634,729円、当作成期間中における追加設定元本額は24,340,527円、同解約元本額は441,219,897円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は8,739円です。
＊当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は218,557,509円です。

■損益の状況

当期　自2024年6月11日　至2024年12月10日

項目	当期
(A) 配当等収益	**24,716円**
受取利息	24,716
(B) 有価証券売買損益	**172,457,806**
売買益	190,832,069
売買損	△ 18,374,263
(C) 信託報酬等	**△ 10,502,181**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**161,980,341**
(E) 前期繰越損益金	**△402,575,786**
(F) 追加信託差損益金	**100,056,927**
(配当等相当額)	(119,382,911)
(売買損益相当額)	(△ 19,325,984)
(G) 合計(D＋E＋F)	**△140,538,518**
(H) 収益分配金	**△ 78,018,991**
次期繰越損益金(G＋H)	**△218,557,509**
追加信託差損益金	100,056,927
(配当等相当額)	(119,382,911)
(売買損益相当額)	(△ 19,325,984)
分配準備積立金	155,385,892
繰越損益金	△474,000,328

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	当期
(a) 経費控除後の配当等収益	23,666円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	119,382,911
(d) 分配準備積立金	233,381,217
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	352,787,794
(f) 分配金	78,018,991
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	274,768,803
(h) 受益権総口数	1,733,755,359口

収益分配金のお知らせ	
1万口当り分配金（税込み）	450円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

為替ヘッジなし

最近５期の運用実績

決算期	基準価額		MSCI AC World指数(税引後配当込み、円換算)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(参考指数)	期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
9期末(2022年12月12日)	9,860	0	△ 5.9	16,131	△ 0.2	－	99.0	15,360
10期末(2023年６月12日)	10,784	0	9.4	17,886	10.9	－	99.4	14,749
11期末(2023年12月11日)	10,935	850	9.3	19,677	10.0	－	99.1	13,230
12期末(2024年６月10日)	11,509	700	11.7	24,378	23.9	0.0	99.1	12,614
13期末(2024年12月10日)	11,861	800	10.0	25,968	6.5	0.0	99.1	11,585

（注１）基準価額の騰落率は分配金込み。
（注２）MSCI AC World指数（税引後配当込み、円換算）は、ＭＳＣＩ　Ｉｎｃ．（「ＭＳＣＩ」）の承諾を得て、MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。MSCI AC World指数（税引後配当込み、米ドルベース）は、ＭＳＣＩが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はＭＳＣＩに帰属します。またＭＳＣＩは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、ＭＳＣＩによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、ＭＳＣＩは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。（https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html）
（注３）海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
（注４）指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
（注５）公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
（注６）公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

運用経過

基準価額等の推移について

（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

＊分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期　首：11,509円
期　末：11,861円（分配金800円）
騰落率：10.0%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

当作成期は、米ドルやユーロが対円で下落（円高）したことはマイナス要因となりましたが、米国や欧州の株式市況が上昇したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年　　月　　日	基準価額		MSCI AC World指数(税引後配当込み、円換算)		公社債組入比率	投資信託受益証券組入比率
		騰落率	(参考指数)	騰落率		
	円	%		%	%	%
（期首）2024年６月10日	11,509	－	24,378	－	0.0	99.1
６月末	11,868	3.1	25,329	3.9	0.0	99.3
７月末	11,313	△ 1.7	23,927	△1.8	0.0	98.9
８月末	11,472	△ 0.3	23,495	△3.6	0.0	98.9
９月末	11,457	△ 0.5	23,908	△1.9	0.0	99.2
10月末	12,178	5.8	25,508	4.6	0.0	99.4
11月末	12,626	9.7	25,451	4.4	0.0	99.1
（期末）2024年12月10日	12,661	10.0	25,968	6.5	0.0	99.1

（注）期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

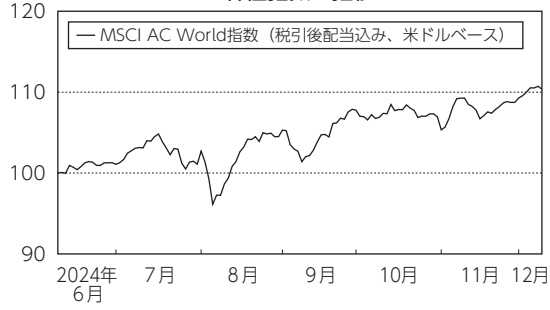
投資環境について　(2024.6.11～2024.12.10)

■グローバル株式市況

グローバル株式市況は上昇しました。

グローバル株式市況は、当作成期首より、インフレ率の低下傾向を受けて利下げ期待が高まったことなどから上昇しました。特に、高成長が期待されるＡＩ（人工知能）関連企業の株価急騰が相場をけん引し、2024年７月半ばまで上昇基調で推移しました。しかし７月後半に入ると、米国の対中輸出規制強化への懸念などから、半導体関連株主導で下落しました。さらに８月初旬には、雇用統計が市場予想よりも弱い内容であったことから景気の先行きに対する不透明感がにわかに強まり、急落しました。その後、米国株式市況は、経済指標の改善や利下げ開始を強く示唆したＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）議長の発言などを好感して急反発すると、９月中旬以降はＦＲＢが0.50％ポイントの利下げを決定したことなども好感され、上昇基調で推移しました。11月初旬の米国大統領選挙でトランプ元大統領が勝利して米国景気の先行きに対する期待が高まったことに加え、米国の雇用統計を受けて利下げ期待が高まり強い地合いのまま当作成期末を迎えました。欧州では、おおむね米国市場と同様の動きとなりましたが、10月中旬以降、小売やテクノロジー関連銘柄の決算発表結果が嫌気されたことなどから、11月末まで下落基調となりました。その後は、ＥＣＢ（欧州中央銀行）による利下げ観測を背景に上昇に転じ、当作成期末を迎えました。

株価指数の推移



（指数は当作成期首を100として指数化しています。）

■為替相場

為替相場は、米ドルおよびユーロともに対円で下落しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、日本の金融市場が他国・地域に比べて緩和的な環境が続く見通しであることなどから、円安基調となりました。その後、過度な円安米ドル高進行に対して政府・日銀が為替介入を行ったものの、円安基調は継続しました。しかし2024年７月以降は、日銀が７月の金融政策決定会合において、緩和的な金融政策を修正する観測が高まったことなどか

為替相場の推移

（為替レートは対円で、当作成期首を100として指数化しています。）

ら大幅な円高米ドル安に転じ、日銀が実際に利上げを決定した後も追加利上げへの警戒感がくすぶったことから、円高基調となりました。9月も、米国金利の低下による日米金利差の縮小や自民党総裁選挙の結果などから、円高基調が継続しました。しかし10月に入ると、米国金利が大きく上昇したことで日米金利差の拡大が意識され、円安米ドル高が大きく進行しました。11月に入っても、米国金利の上昇に連れて円安米ドル高基調となりましたが、月半ば以降は、米国金利が低下に転じたことや日銀総裁が利上げを継続する方針を示したことなどから、円高に転じました。ユーロもおおむね米ドルと同様の推移となりましたが、ユーロ圏内の経済低迷により、米ドルよりも対円でより大幅な下落となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

※フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）：アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて (2024.6.11～2024.12.10)

■当ファンド

当ファンドは、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」と「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」へ投資するファンド・オブ・ファンズです。当作成期を通して、「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」を高位に組み入れました。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドの主要投資対象である「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

当作成期は、「キャッシュレス・ビジネス」では、米国のクレジットカード会社ビザなど、「フィンテック技術基盤」では、クレジット・マーケティング・サービスを提供するエクスペリアンなど、「次世代金融リーダー」では、英国のロンドン証券取引所グループなどを組み入れました。

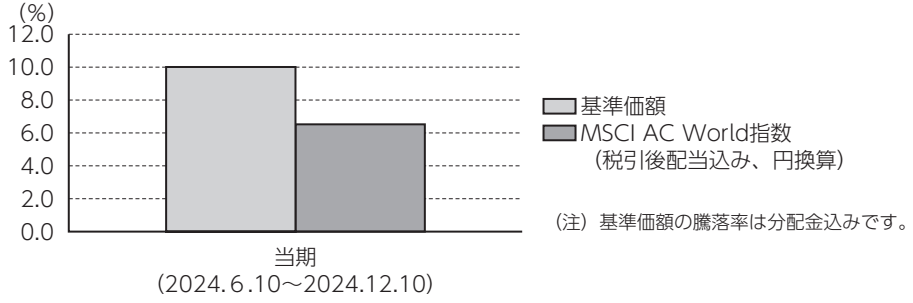
個別銘柄については、フランスの大手銀行ソシエテ・ジェネラルや欧州の決済サービス会社ネクシィを全売却し、トランプ次期政権の規制緩和の恩恵を受けると考えることから、ＪＰモルガン・チェース・アンド・カンパニーや金融サービス企業ブロックを新規に組み入れました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項目			当期 2024年６月11日 ～2024年12月10日
当期分配金（税込み）		**(円)**	**800**
	対基準価額比率	(%)	6.32
	当期の収益	(円)	800
	当期の収益以外	(円)	－
翌期繰越分配対象額		(円)	1,902

（注１）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注２）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注３）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注４）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

■収益分配金の計算過程（１万口当り）

項目	当期	
(a) 経費控除後の配当等収益	✓	0.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	✓	1,151.08
(c) 収益調整金		381.04
(d) 分配準備積立金		1,170.44
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)		2,702.72
(f) 分配金		800.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)		1,902.72

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

■当ファンド

「フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）」の組入比率を、通常の状態で高位に維持することを基本とします。

■フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし）

当ファンドが投資する「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」は、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマである「キャッシュレス・ビジネス」、「フィンテック技術基盤」、「次世代金融リーダー」に着目して、フィンテック企業に投資を行います。

フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ（情報技術）を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりとともに市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化していき、長期にわたる成長市場になっていくと予想しています。

運用にあたっては、高い成長性と強固なバランスシートを持つ企業に着目しています。当ファンドの組入銘柄の多くは、市場平均よりも高い成長性と優れた営業実績を提供していると分析しています。引き続き、長期トレンドを捉える成長企業に投資することで、ファンドの成長をめざします。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

１万口当りの費用の明細

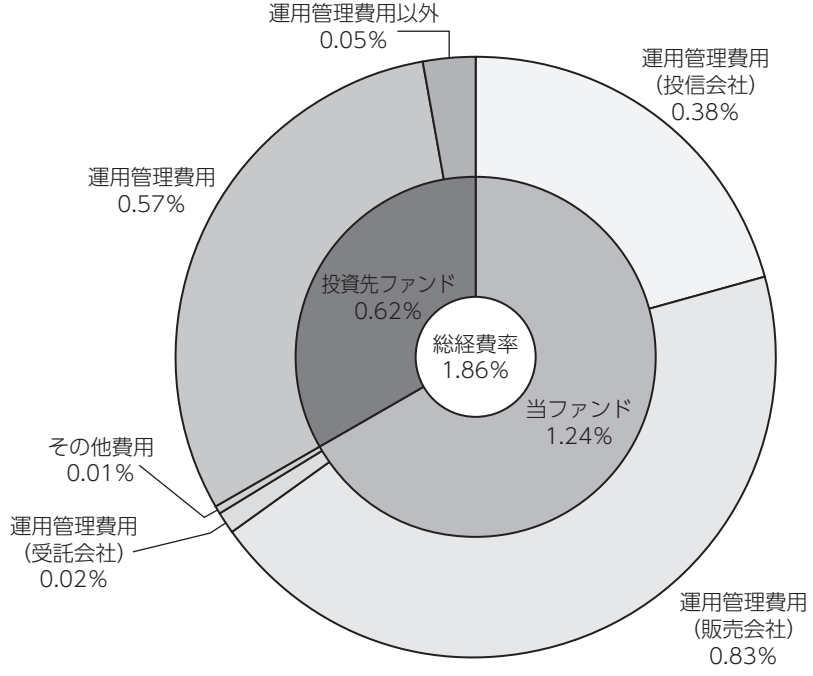
項　　目	当期 (2024.6.11～2024.12.10)		項　目　の　概　要
	金　額	比　率	
信　託　報　酬	73円	0.618%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 **当作成期中の平均基準価額は11,796円です。**
（投　信　会　社）	(23)	(0.193)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販　売　会　社）	(49)	(0.414)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受　託　会　社）	(1)	(0.011)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ　の　他　費　用	0	0.004	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（監　査　費　用）	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合　　計	73	0.622	

（注１）当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
（注３）各比率は１万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第３位未満を四捨五入してあります。
（注４）組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「１万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.86％です。



総経費率（①＋②＋③）	1.86%
①当ファンドの費用の比率	1.24%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.57%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.05%

（注１）投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。
（注２）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注３）投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。
（注４）各比率は、年率換算した値です。
（注５）①の費用は、１万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注６）①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。
（注７）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注８）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

（2024年６月11日から2024年12月10日まで）

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	82,000.821	140,000	1,322,237.695	2,400,000

（注１）金額は受渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	当期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
国内投資信託受益証券			
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	6,015,765.357	11,477,478	99.1

（注１）比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率。
（注２）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 親投資信託残高

種類	期首	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0	0

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	11,477,478	92.1
ダイワ・マネーストック・マザーファンド	0	0.0
コール・ローン等、その他	989,044	7.9
投資信託財産総額	12,466,524	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月10日現在

項目	当期末
(A) 資産	**12,466,524,324円**
コール・ローン等	989,044,602
投資信託受益証券(評価額)	11,477,478,724
ダイワ・マネーストック・マザーファンド(評価額)	998
(B) 負債	**880,918,883**
未払収益分配金	781,450,878
未払解約金	23,134,434
未払信託報酬	75,825,888
その他未払費用	507,683
(C) 純資産総額(A－B)	**11,585,605,441**
元本	9,768,135,983
次期繰越損益金	1,817,469,458
(D) 受益権総口数	**9,768,135,983口**
１万口当り基準価額(C／D)	**11,861円**

＊期首における元本額は10,960,718,878円、当作成期間中における追加設定元本額は172,845,469円、同解約元本額は1,365,428,364円です。
＊当期末の計算口数当りの純資産額は11,861円です。

■損益の状況

当期　自2024年6月11日　至2024年12月10日

項　　目	当　　期
(A) 配当等収益	**159,304円**
受取利息	159,304
(B) 有価証券売買損益	**1,200,719,516**
売買益	1,271,663,730
売買損	△　70,944,214
(C) 信託報酬等	**△　76,333,571**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**1,124,545,249**
(E) 前期繰越損益金	**1,143,309,932**
(F) 追加信託差損益金	**331,065,155**
(配当等相当額)	(　372,206,923)
(売買損益相当額)	(△　41,141,768)
(G) 合計(D＋E＋F)	**2,598,920,336**
(H) 収益分配金	**△　781,450,878**
次期繰越損益金(G＋H)	**1,817,469,458**
追加信託差損益金	331,065,155
(配当等相当額)	(　372,206,923)
(売買損益相当額)	(△　41,141,768)
分配準備積立金	1,486,404,303

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
（注3）収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項　　目	当　　期
(a) 経費控除後の配当等収益	151,671円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	1,124,393,578
(c) 収益調整金	372,206,923
(d) 分配準備積立金	1,143,309,932
(e) 当期分配対象額(a＋b＋c＋d)	2,640,062,104
(f) 分配金	781,450,878
(g) 翌期繰越分配対象額(e－f)	1,858,611,226
(h) 受益権総口数	9,768,135,983口

収　益　分　配　金　の　お　知　ら　せ	
1万口当り分配金（税込み）	800円

●<分配金再投資コース>をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<補足情報>

当ファンド（ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり／為替ヘッジなし））が投資対象としている「ダイワ・マネーストック・マザーファンド」の決算日（2024年12月９日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの決算日（2024年12月10日）現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■ダイワ・マネーストック・マザーファンドの主要な売買銘柄

公　社　債

（2024年６月11日から2024年12月10日まで）

買	付	売	付
銘　柄	金　額	銘　柄	金　額
	千円		千円
1239国庫短期証券　2024/9/24	69,999,650		
1258国庫短期証券　2024/12/23	53,294,723		
1266国庫短期証券　2025/2/10	41,398,758		
1231国庫短期証券　2025/5/20	39,942,240		
1232国庫短期証券　2024/8/19	11,999,832		

（注１）金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
（注２）単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2024年12月10日現在におけるダイワ・マネーストック・マザーファンド（239,350,768千口）の内容です。

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

2024年12月10日現在							
区　分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	134,700,000	134,670,767	56.2	－	－	－	56.2

（注１）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注２）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注３）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

2024年12月10日現在						
区　分	銘　柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日	
		%	千円	千円		
国債証券	1258国庫短期証券	－	53,300,000	53,299,237	2024/12/23	
	1266国庫短期証券	－	41,400,000	41,399,206	2025/02/10	
	1231国庫短期証券	－	40,000,000	39,972,323	2025/05/20	
合　計	銘柄数	3銘柄				
	金　額		134,700,000	134,670,767		

（注）単位未満は切捨て。

ダイワ・マネーストック・マザーファンド

運用報告書　第15期（決算日　2024年12月９日）

（作成対象期間　2023年12月12日～2024年12月９日）

ダイワ・マネーストック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

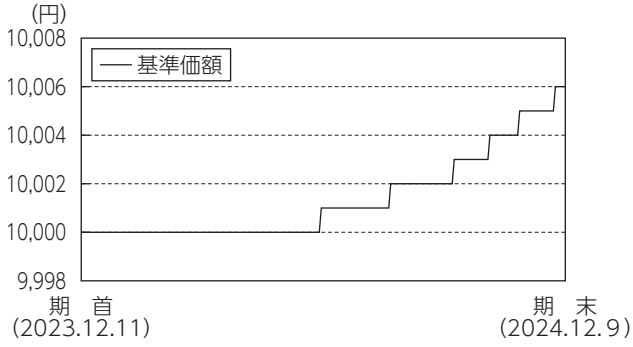
★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運　用　方　針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目９番１号
https://www.daiwa-am.co.jp/

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		公社債組入比率
		騰落率	
	円	%	%
(期首)2023年12月11日	10,000	−	−
12月末	10,000	0.0	−
2024年1月末	10,000	0.0	−
2月末	10,000	0.0	−
3月末	10,000	0.0	55.3
4月末	10,000	0.0	82.1
5月末	10,000	0.0	68.9
6月末	10,001	0.0	55.2
7月末	10,002	0.0	69.8
8月末	10,002	0.0	84.0
9月末	10,003	0.0	58.2
10月末	10,004	0.0	56.5
11月末	10,005	0.1	56.7
(期末)2024年12月9日	10,006	0.1	56.2

(注1) 騰落率は期首比。
(注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,000円　期末：10,006円　騰落率：0.1%

【基準価額の主な変動要因】

短期の国債およびコール・ローン等の利回りが低位で推移したことなどから、基準価額はおおむね横ばいとなりました。

◆投資環境について

○国内短期金融市況

当作成期首より2024年2月までは、日銀のマイナス金利政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りはおおむねマイナス圏で推移しました。その後、3月に日銀はマイナス金利政策を解除しましたが、緩和的な金融環境が継続する中、国庫短期証券（3カ月物）の利回りは低位で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローンによる運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	−円
有価証券取引税	−
その他費用	−
合計	−

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公社債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	346,632,363	− (212,000,000)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2023年12月12日から2024年12月9日まで)

当期			
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
1219国庫短期証券 2024/6/24	129,997,160		
1239国庫短期証券 2024/9/24	69,999,650		
1258国庫短期証券 2024/12/23	53,294,723		
1266国庫短期証券 2025/2/10	41,398,758		
1231国庫短期証券 2025/5/20	39,942,240		
1232国庫短期証券 2024/8/19	11,999,832		

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 国内（邦貨建）公社債（種類別）

作成期	当期末						
区分	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	134,700,000	134,670,523	56.2	−	−	−	56.2

（注1）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注2）額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
（注3）評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 国内（邦貨建）公社債（銘柄別）

当期末						
区分		銘柄	年利率	額面金額	評価額	償還年月日
			%	千円	千円	
国債証券		1258国庫短期証券	−	53,300,000	53,299,179	2024/12/23
		1266国庫短期証券	−	41,400,000	41,399,193	2025/02/10
		1231国庫短期証券	−	40,000,000	39,972,151	2025/05/20
合計	銘柄数	3銘柄				
	金額			134,700,000	134,670,523	

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2024年12月9日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	134,670,523	56.2
コール・ローン等、その他	104,892,215	43.8
投資信託財産総額	239,562,739	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2024年12月9日現在

項目	当期末
(A) 資産	**239,562,739,179円**
コール・ローン等	104,892,215,443
公社債(評価額)	134,670,523,736
(B) 負債	**−**
(C) 純資産総額(A−B)	**239,562,739,179**
元本	239,423,796,545
次期繰越損益金	138,942,634
(D) 受益権総口数	**239,423,796,545口**
1万口当り基準価額(C／D)	**10,006円**

＊期首における元本額は223,366,515,143円、当作成期間中における追加設定元本額は379,388,372,711円、同解約元本額は363,331,091,309円です。
＊当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−	1,268円
ダイワ／ミレーアセット・インド株式ファンド　−インドの匠−	1,270円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジあり）	998円
ワールド・フィンテック革命ファンド（為替ヘッジなし）	998円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−（為替ヘッジあり）	1,849円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）−ロボテック（年1回）−（為替ヘッジあり）	1,985円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　Ｓ＆Ｐ500	12,280,562,264円
ｉＦｒｅｅレバレッジ　ＮＡＳＤＡＱ100	161,414,548,329円
クリーンテック株式ファンド（資産成長型）	1,802円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド　−ロボテック−（毎月決算／予想分配金提示型）	999円
世界インフラ戦略ファンド（為替ヘッジなし／資産成長型）	1,501円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均レバレッジ・インデックス	4,967,255,494円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均ダブルインバース・インデックス	3,734,014,700円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸレバレッジ（２倍）指数	1,515,998,588円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸダブルインバース（−２倍）指数	801,214,702円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　日経平均インバース・インデックス	5,058,763,299円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＴＯＰＩＸインバース（−１倍）指数	10,715,235,502円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　ＪＰＸ日経400ダブルインバース・インデックス	64,927,071円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　Ｓ＆Ｐ500レバレッジ	876,757,771円
ｉＦｒｅｅＥＴＦ　Ｓ＆Ｐ500インバース	2,731,982,925円
ダイワ日本国債15−20年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ　−ＳＬトレード−	5,039,566円
ブルベア・マネー・ポートフォリオ６	19,181,134,074円
ブル３倍日本株ポートフォリオ６	14,137,732,019円
ベア２倍日本株ポートフォリオ６	1,917,701,692円
ダイワ／ハリス世界厳選株ファンド・マネー・ポートフォリオ	20,903,964円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジあり）	997円
ダイワ米国バンクローン・オープン（為替ヘッジなし）	997円
ダイワ／ミレーアセット亜細亜株式ファンド	1,148円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）米ドル・コース	1,833円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）ブラジル・レアル・コース	1,788円
通貨選択型ダイワ／ミレーアセット・グローバル好配当株α（毎月分配型）通貨セレクト・コース	1,751円
ロボット・テクノロジー関連株ファンド（年1回決算型）　−ロボテック（年1回）−	1,588円
ダイワ／ミレーアセット・アジア・セクターリーダー株ファンド	1,813円

＊当期末の計算口数当りの純資産額は10,006円です。

■損益の状況

当期　自2023年12月12日　至2024年12月９日

項目	当期
(A) 配当等収益	**101,466,211円**
受取利息	108,064,601
支払利息	△　6,598,390
(B) 有価証券売買損益	**118**
売買益	118
(C) 当期損益金(A＋B)	**101,466,329**
(D) 前期繰越損益金	**2,910,485**
(E) 解約差損益金	**△ 35,737,142**
(F) 追加信託差損益金	**70,302,962**
(G) 合計(C＋D＋E＋F)	**138,942,634**
次期繰越損益金(G)	**138,942,634**

（注１）解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注２）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

AXA Investment Managers

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

	為替ヘッジなし	為替ヘッジあり
商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2050年７月15日まで	
運用方針	アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド（以下、「マザーファンド」）の受益証券を通じて、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	マザーファンドの受益証券
	マザーファンド	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
ベビーファンドの運用方法	１．主として、マザーファンドの受益証券を通じて日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。）に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の３つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 ２．マザーファンドの受益証券の組入比率は、原則として高位に維持します。	
	３．実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	３．実質組入外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。 ※一部の通貨について、為替ヘッジが困難、あるいは、ヘッジコストが過大と判断される際には、為替ヘッジを行わない、または他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。
	４．資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
マザーファンドの運用方法	１．主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の３つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 ２．ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 イ）日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。 ロ）投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ）選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 ３．株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 ４．運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズＵＫリミテッド*に運用の指図に関する権限を委託します。 ＊（2024年11月１日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリから変更されました。） ５．外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ６．資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	毎決算時に原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（繰越欠損補填後、評価損益を含む）等の金額とします。 ②分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないこともあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ③留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

追加型投信／海外／株式

運用報告書（全体版）

第13期（決算日　2024年11月11日）

受益者の皆様へ

平素は格別のお引き立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替ヘッジなし／為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」は、このたび第13期の決算を行いました。当ファンドは、アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドの受益証券を通じて、日本を含む世界のフィンテック関連株式に投資することにより、信託財産の成長を目指します。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

引き続き一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
東京都港区白金1-17-3　ＮＢＦプラチナタワー14階
http://www.axa-im.co.jp/

《当運用報告書の記載内容に関する問い合わせ先》
電話番号：03-5447-3160
受付時間：9：00～17：00(土日祭日を除く)

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
９期(2022年11月10日)	13,054	0	6.6	96.5	22,412
10期(2023年５月10日)	13,371	0	2.4	96.6	20,881
11期(2023年11月10日)	14,296	0	6.9	94.7	19,189
12期(2024年５月10日)	17,361	0	21.4	95.9	17,614
13期(2024年11月11日)	19,079	0	9.9	97.4	15,442

（注１）基準価額および分配金は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	%
2024年５月10日	17,361	－	95.9
５月末	17,116	△1.4	94.6
６月末	17,776	2.4	94.6
７月末	16,957	△2.3	96.2
８月末	17,213	△0.9	95.7
９月末	17,209	△0.9	94.8
10月末	18,319	5.5	96.1
（期末）			
2024年11月11日	19,079	9.9	97.4

（注１）基準価額は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額			株式組入比率	純資産総額
	（分配落）	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
９期(2022年11月10日)	9,889	0	△ 4.8	95.3	2,250
10期(2023年５月10日)	10,327	0	4.4	97.3	2,207
11期(2023年11月10日)	9,695	0	△ 6.1	96.0	1,894
12期(2024年５月10日)	11,088	0	14.4	96.5	1,850
13期(2024年11月11日)	12,051	0	8.7	97.2	1,629

（注１）基準価額および分配金は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。なお、当期は分配金はありません。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

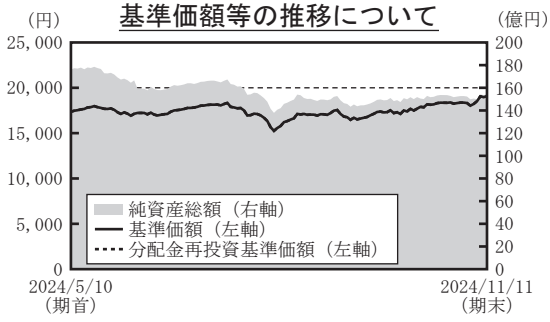
■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
（期首）	円	%	%
2024年５月10日	11,088	－	96.5
５月末	10,802	△2.6	93.4
６月末	10,950	△1.2	94.7
７月末	10,942	△1.3	92.9
８月末	11,475	3.5	90.8
９月末	11,512	3.8	93.5
10月末	11,522	3.9	95.9
（期末）			
2024年11月11日	12,051	8.7	97.2

（注１）基準価額は１万口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み、騰落率は期首比です。なお、当期は分配金はありません。
（注２）当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」は実質比率を記載しております。
（注３）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

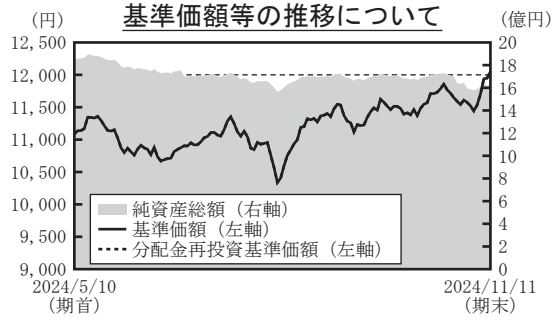
■当期の運用状況（2024年５月11日～2024年11月11日）

為替ヘッジなし



期　　首：17,361円
期　　末：19,079円（既払分配金0円）
騰 落 率：　9.9%（分配金再投資ベース）

為替ヘッジあり



期　　首：11,088円
期　　末：12,051円（既払分配金0円）
騰 落 率：　8.7%（分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

○為替ヘッジなし
　当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

○為替ヘッジあり
　当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が全般的に上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】

○グローバル株式市場
　当期のグローバル株式市場は、上昇しました。期初より予想を上回る企業業績や人工知能（ＡＩ）への高い期待に支えられて株価は上昇し、６月も引き続き堅調に推移しました。８月に入ると日銀の積極的な利上げ姿勢を受けたキャリートレードの巻き戻しで日本市場が急落したのを皮切りに、欧米でもマクロ経済のシナリオがソフトランディングからハードランディングに変化するかもしれないとの見方から、下落基調が続きました。しかしながら、月後半にかけては不安材料は概ね後退し、パウエル米連邦準備制度理事会（ＦＲＢ）議長の９月利下げ開始を示唆する発言などを受けて株価は上昇に転じました。９月に入ると、雇用の減速とインフレの鈍化を示す最近の経済指標に対応してＦＲＢは予想を上回る50ベーシスポイントの利下げに踏み切りました。この様な状況下、株価は引き続き上昇しましたが、10月に入ると米大統領選を前に投資家が守りに入り、ＦＲＢによる大幅利下げの期待が堅調な経済指標により後退したため、株価は下落しました。11月に入ると米大統領選でトランプ氏が勝利したことを受けて株価は上昇し、６日の主要３指数はいずれも過去最高値を更新しました。

○為替市場
　為替市場では、米ドル・円レートは期初は155円台から期末には153円台となり、ユーロ・円レートは期初の167円台から期末には164円台となりました。
　当期は、米ドルはＦＲＢによる早期の利下げ観測が後退したことや、日銀が４月の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定したことを受けて日米金利差が開いた状況が長く続くとの見方が強まったことなどから円安が進行しました。その後、７月末の日銀による追加利上げを受けて、日米金利差が縮小するとの見方から円高が進行しました。ユーロは欧州中央銀行（ＥＣＢ）が９月の政策会合で追加利下げを決定するとの事前予想から円高が進行しました。ユーロは10月下旬に日銀が追加利上げに慎重な姿勢を示したことにより円安が進行しましたが、期を通じては円高となりました。

【ポートフォリオについて】

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れました。

○アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からフィネコバンク・バンカ・フィネコやネクシィなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

当期は、ブラジルの金融ソリューション企業パグセグロ・デジタルとストーンコーを全売却しました。また、米国の決済サービス会社ＷＥＸを一部売却し、スウェーデンの金融サービス会社ノルドネットのポジションを利益確定で一部売却しました。一方で、米国のクラウドアプリケーションを提供する企業ワークデイを株価が下落した局面で積み増ししました。また、中小企業向けにＢ２Ｂ決済ソリューションを提供している米国のフィンテック企業ビル・ホールディングスの株式を新たに組み入れました。

【当ファンドのベンチマークの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【分配金】

○為替ヘッジなし

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳　（単位：円、１万口当たり、税込み）

	第13期 2024年５月11日～2024年11月11日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	9,079

（注１）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注２）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注３）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、１万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

○為替ヘッジあり

当期は、基準価額の水準等を勘案し、収益の分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用いたします。

分配原資の内訳　（単位：円、１万口当たり、税込み）

	第13期
	2024年５月11日～2024年11月11日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	5,361

（注１）「当期の収益」は「費用控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備設立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

（注２）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注３）「当期の収益」および「当期の収益以外」の算出に当たっては、１万口当たりで小数点以下を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■今後の運用方針

○当ファンド

主要投資対象である「アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド」の受益証券を高位に組み入れる方針です。

○アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■１万口当たりの費用明細（2024年５月11日～2024年11月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	51円	0.290%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は17,443円です。
（投信会社）	(49)	(0.279)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	3	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(3)	(0.015)	
その他費用	5	0.027	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(4)	(0.024)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	58	0.333	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年５月11日～2024年11月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	78,352	140,000	2,113,449	3,820,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買比率（2024年５月11日～2024年11月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,935,024千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,434,811千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.30

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2024年５月11日～2024年11月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第１項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2024年５月11日～2024年11月11日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年11月11日現在）

親投資信託残高

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	9,806,069	7,770,973	15,386,526

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年11月11日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	15,386,526	99.3
コール・ローン等、その他	102,187	0.7
投資信託財産総額	15,488,714	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（16,506,108千円）の投資信託財産総額（17,056,459千円）に対する比率は、96.8％です。
（注３）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１米ドル＝153.14円、１シンガポールドル＝115.38円、１英ポンド＝197.75円、１スウェーデンクローナ＝14.15円、１メキシコペソ＝7.61円、100インドネシアルピア＝0.98円、１南アフリカランド＝8.69円、１ユーロ＝164.04円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年11月11日現在）

項目	当期末
(A) 資産	**15,488,714,683円**
コール・ローン等	52,187,862
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	15,386,526,821
未収入金	50,000,000
(B) 負債	**46,035,479**
未払信託報酬	45,471,179
その他未払費用	564,300
(C) 純資産総額(A－B)	**15,442,679,204**
元本	8,093,946,346
次期繰越損益金	7,348,732,858
(D) 受益権総口数	**8,093,946,346口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**19,079円**

１．期首元本額　10,146,070,194円
　　期中追加設定元本額　82,000,821円
　　期中一部解約元本額　2,134,124,669円
２．１口当たり純資産額　1.9079円

■損益の状況

当期（自　2024年５月11日　至　2024年11月11日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**16,549円**
受取利息	16,549
(B) 有価証券売買損益	**1,438,631,953**
売買益	1,526,748,758
売買損	△　88,116,805
(C) 信託報酬等	**△　46,035,479**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**1,392,613,023**
(E) 前期繰越損益金	**5,011,930,030**
(F) 追加信託差損益金	**944,189,805**
(配当等相当額)	(　787,525,909)
(売買損益相当額)	(　156,663,896)
(G) 計(D＋E＋F)	**7,348,732,858**
次期繰越損益金(G)	**7,348,732,858**
追加信託差損益金	944,189,805
(配当等相当額)	(　787,938,654)
(売買損益相当額)	(　156,251,151)
分配準備積立金	6,404,543,053

（注１）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）計算期間末における費用控除後の配当等収益（117,660,136円）、費用控除後の有価証券等損益額（1,274,952,887円）、信託約款に規定する収益調整金（944,189,805円）および分配準備積立金（5,011,930,030円）より分配対象収益は7,348,732,858円（10,000口当たり9,079.30円）ですが、当期に分配した金額はありません。

■１万口当たりの費用明細（2024年５月11日～2024年11月11日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	33円	0.290%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,208円です。
（投信会社）	(31)	(0.279)	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	販売会社分は、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.011)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	2	0.015	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(2)	(0.015)	
その他費用	6	0.057	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(4)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(3)	(0.023)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	41	0.362	

（注１）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2024年５月11日～2024年11月11日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	33,119	60,000	251,374	470,000

（注）単位未満は切捨て。

■**株式売買比率**（2024年５月11日～2024年11月11日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	4,935,024千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	16,434,811千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.30

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■**利害関係人との取引状況等**（2024年５月11日～2024年11月11日）

期中の利害関係人との取引はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第１項に規定されている利害関係人です。

■**第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況**（2024年５月11日～2024年11月11日）

期中における当該事項はありません。

■**組入資産の明細**（2024年11月11日現在）

親投資信託残高

種類	期首（前期末）	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,036,375	818,120	1,619,879

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年11月11日現在）

項目	当期末 評価額	当期末 比率
	千円	%
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド	1,619,879	98.3
コール・ローン等、その他	28,114	1.7
投資信託財産総額	1,647,994	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンドにおいて、期末における外貨建て資産（16,506,108千円）の投資信託財産総額（17,056,459千円）に対する比率は、96.8％です。
（注３）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１米ドル＝153.14円、１シンガポールドル＝115.38円、１英ポンド＝197.75円、１スウェーデンクローナ＝14.15円、１メキシコペソ＝7.61円、100インドネシアルピア＝0.98円、１南アフリカランド＝8.69円、１ユーロ＝164.04円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

（2024年11月11日現在）

項目	当期末
(A) 資産	**3,198,518,490円**
コール・ローン等	26,721,550
アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド(評価額)	1,619,879,506
未収入金	1,551,917,434
(B) 負債	**1,568,902,412**
未払金	1,563,370,027
未払信託報酬	4,968,085
その他未払費用	564,300
(C) 純資産総額(A－B)	**1,629,616,078**
元本	1,352,321,808
次期繰越損益金	277,294,270
(D) 受益権総口数	**1,352,321,808口**
1万口当たり基準価額(C／D)	**12,051円**

１．期首元本額　1,668,574,214円
　　期中追加設定元本額　－円
　　期中一部解約元本額　316,252,406円
２．１口当たり純資産額　1.2051円

■損益の状況

当期（自　2024年５月11日　至　2024年11月11日）

項目	当期
(A) 配当等収益	**7,092円**
受取利息	7,092
(B) 有価証券売買損益	**135,906,369**
売買益	325,842,022
売買損	△189,935,653
(C) 先物取引等損益	**△　167,850**
取引益	5,811,840
取引損	△　5,979,690
(D) 信託報酬等	**△　5,538,325**
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	**130,207,286**
(F) 前期繰越損益金	**21,940,752**
(G) 追加信託差損益金	**125,146,232**
(配当等相当額)	(　164,075,912)
(売買損益相当額)	(△　38,929,680)
(H) 計(E＋F＋G)	**277,294,270**
次期繰越損益金(H)	**277,294,270**
追加信託差損益金	125,146,232
(配当等相当額)	(　164,075,912)
(売買損益相当額)	(△　38,929,680)
分配準備積立金	560,925,867
繰越損益金	△408,777,829

（注１）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
（注３）損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
（注４）計算期間末における費用控除後の配当等収益（12,175,977円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（164,075,912円）および分配準備積立金（548,749,890円）より分配対象収益は725,001,779円（10,000口当たり5,361.16円）ですが、当期に分配した金額はありません。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式（ＤＲ（預託証券）を含みます。以下同じ。）および株式関連証券
運用方法	１．主として、日本を含む世界のフィンテック関連企業の株式に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。投資にあたっては、①キャッシュレス・ビジネス、②テクノロジーを積極的に取り込む金融ビジネス、③フィンテックの技術基盤の３つの成長テーマに着目します。 ※当ファンドにおいてフィンテック関連企業とは、多岐にわたる新たなテクノロジーを通じて、保険、資産運用、融資、決済などの既存の金融サービスに変革をもたらす企業をいいます。 ２．ポートフォリオの構築にあたっては、次の方針で行うことを基本とします。 イ）日本を含む世界の金融商品取引所に上場している株式の中から、金融・経済情勢などを勘案した上で、フィンテック分野で長期にわたり成長の可能性を有する企業群を選定します。その中から、流動性の低い銘柄を除外したものを投資対象銘柄として選定します。 ロ）投資対象銘柄の中から、詳細なファンダメンタル企業分析を行い、中長期的な収益成長性、フィンテック分野における優位性、新しい技術を開発または活用する能力、市場をリードする商品・サービスの有無、強力な経営陣などを考慮することで、組入候補銘柄を選定します。 ハ）選定した組入候補銘柄から、株価の上昇期待度や下落の余地、ポートフォリオ全体のリスクなどを考慮して、確信度に基づいて組入比率を決定し、ポートフォリオを構築します。 ３．株式および株式関連証券の組入比率は、原則として高位に維持します。 ４．運用にあたっては、アクサ・インベストメント・マネージャーズ・パリ*に運用の指図に関する権限を委託します。 ＊（2024年11月１日よりアクサ・インベストメント・マネージャーズＵＫリミテッドに運用の拠点を変更） ５．外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ６．資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
株式組入制限	無制限

アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式マザーファンド

運用報告書

第６期（決算日：2024年５月10日）

（計算期間　2023年５月11日～2024年５月10日）

■最近５期の運用実績

決算期	基準価額		株式組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
	円	%	%	百万円
２期(2020年５月11日)	10,478	0.7	94.3	56,348
３期(2021年５月10日)	15,656	49.4	96.1	56,035
４期(2022年５月10日)	12,508	△20.1	95.9	26,535
５期(2023年５月10日)	13,737	9.8	96.8	23,051
６期(2024年５月10日)	17,961	30.7	95.9	19,474

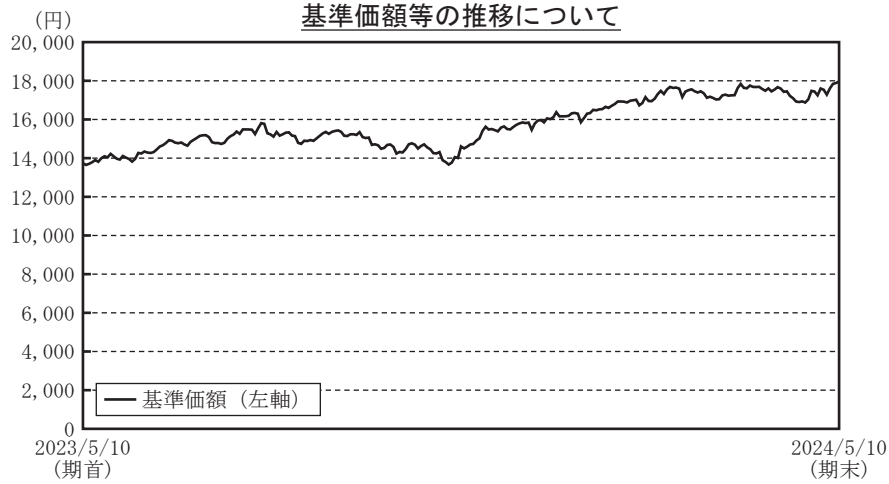
（注１）基準価額は１万口当たり。
（注２）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期中の基準価額の推移

年月日	基準価額		株式組入比率
		騰落率	
	円	%	%
（期首） 2023年５月10日	13,737	－	96.8
５月末	13,955	1.6	96.2
６月末	15,042	9.5	94.8
７月末	15,548	13.2	95.4
８月末	15,358	11.8	94.9
９月末	14,684	6.9	95.0
10月末	13,768	0.2	95.0
11月末	15,610	13.6	95.2
12月末	16,300	18.7	95.1
2024年１月末	17,019	23.9	95.8
２月末	17,460	27.1	96.6
３月末	17,679	28.7	94.7
４月末	17,601	28.1	95.4
（期末） 2024年５月10日	17,961	30.7	95.9

（注１）基準価額は１万口当たり。騰落率は期首比です。
（注２）当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ボトムアップの銘柄選定による運用を行うため、運用目標となるベンチマークや参考指数はありません。

■当期の運用状況（2023年５月11日～2024年５月10日）



【基準価額の主な変動要因】
当期は、米国や欧州を中心に保有銘柄の株価が上昇したことがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

【投資環境について】
○グローバル株式市場
当期のグローバル株式市場は、期初より欧州および日本を除くアジア太平洋地域がドル高の影響により悪化したため下落しました。６月に入ると一転して、米国債務上限問題の解決、銀行経営危機の収束、米国の利上げ停止（あるいは一時停止）などの好材料が相まって株価は上昇しました。７月も特に北米の経済が予想以上に底堅い成長を示したことや、良好な2023年４－６月期の企業決算発表などにより堅調に推移しました。８月に入ると前月の上昇から反転して、マクロ経済の不透明感が投資家心理に影響したことから下落し、９月も米連邦準備理事会（ＦＲＢ）の「タカ派的な利上げ一時停止」の発表により下押し圧力が強まったことや、投資家のソフトランディングを軸としたシナリオが楽観的すぎるように見え始めたことが要因となり続落しました。10月に入るとイスラエルとハマスの対立が再燃し、中東の緊張が極度に高まったことや、中国の需要減による日本の経済活動の低下など不確実な状況の中で引き続き下落しましたが、11月にＦＲＢが現在の利上げサイクルを終了させるとの期待や、2024年に利下げが行われる可能性があるとの見方に後押しされて大きく上昇しました。ガザでの停戦合意も市場のセンチメントの好材料となりました。12月もインフレ率の減速、ＦＲＢの利上げ終了及び2024年前半における利下げ開始への期待感が市場を押し上げて堅調なパフォーマンスを持続しました。2024年１月以降も良好なマクロ経済統計の発表および2023年10－12月期の好調な決算発表が好感されて、米国、欧州、日本で高値を更新しました。２月も上昇トレンドを継続し、３月は好調なマクロ経済を背景に、世界の株価指数は歴史的な高値を記録しました。４月に入ると一転して、米国の利下げ開始はやや後ずれするとの見方に傾き始めたことや地政学面においては中東における対立が深刻化し、投資家のリスク選好度に重くのしかかったことも影響して下落しましたが、期を通して上昇しました。

○為替市場
為替市場では、米ドル・円レートは期初は135円台から期末には155円台となり、ユーロ・円レートは期初の148円台から期末には167円台となりました。
当期は、米ドルはＦＲＢによる早期の利下げ観測が後退したことや、日銀が４月の金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定したことを受けて日米金利差が開いた状況が長く続くとの見方が強まったことなどから、ユーロはユーロ圏の景気回復期待から米ドル・ユーロに対して円安が進行しました。

【ポートフォリオについて】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。企業規模の面ではビザやロンドン証券取引所グループのような大型株からフィネコバンク・バンカ・フィネコやネクシィなどの中小型株にも幅広く投資しています。地域別ではフィンテック関連企業の技術革新において先進的な地域である米国を中心に、グローバルに投資をしています。

期の前半は、中国の金融サービスプロバイダーＬｕｆａｘ　Ｈｏｌｄｉｎｇの株式を中国市場の反発を捉えて全売却しました。政府による追加景気刺激策の話が出ているにも関わらず、中国が2023年後半にはデフレに陥る可能性があるとの見方が強まっているためです。この売却代金を用いて、オーストリアの銀行エアステ・グループ・バンクを新たに組み入れました。同社は預金業務やコーポレートバンキング、および投資銀行業務に従事しており、長年にわたるＩＴ投資により同地域でデジタル面の高い競争優位性を保っています。後半は、フランスの電子決済プラットフォームの開発・運営企業ワールドラインと中国のインシュアテック企業衆安在線財産保険を全売却しました。また、スペインのサンタンデール銀行の株式を一部売却し、銀行への資産配分を縮小しました。一方で、教育・医療・旅行などの業種に特化した決済ソリューションを提供する米国のフライワイヤーと様々なフィンテック・ソリューションを開発するＥＲＰソフトウェアを提供するスウェーデンのフォートノックスを新たに組み入れました。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドは、特定のベンチマークによる制約のないアプローチを採用し、ファンダメンタル・リサーチに基づくボトムアップの銘柄選定にフォーカスした運用を行います。従って、運用目標となるベンチマークを設けておりません。

【今後の運用方針】

当ファンドは、テクノロジー企業と金融機関が協業して生まれるフィンテック市場の動きを捉え、３つの成長テーマであるキャッシュレス・ビジネス、フィンテック技術基盤、次世代金融リーダーに着目して、フィンテック企業に投資を行います。フィンテックは、金融業務の効率性を高めるだけのものではなく、最新のＩＴ技術を用いた新たな金融サービスであり、サービスの広がりと共に市場が大きく拡大していく革命です。この動きはこれからさらに本格化し、10年以上続く成長市場になっていくと予想しています。当ファンドは、長期トレンドを捉える成長企業に投資することでファンドの成長を目指します。

■１万口当たりの費用明細（2023年５月11日～2024年５月10日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料	6円	0.040%	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	(6)	(0.040)	
その他費用	6	0.035	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（その他）	(6)	(0.035)	
合計	12	0.076	

（注１）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注２）「比率」欄は、「１万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（15,734円）で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況（2023年５月11日～2024年５月10日）

株　式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	日本	千株 70.6	千円 251,361	千株 18.5	千円 172,992
外国	アメリカ	百株 2,915.03	千米ドル 12,537	百株 21,433.13	千米ドル 42,162
	香港	76	千香港ドル 131	5,461	千香港ドル 7,431
	シンガポール	17 (94)	千シンガポールドル 56 (－)	523	千シンガポールドル 1,670
	イギリス	186.08	千英ポンド 363	16,353.68	千英ポンド 10,227
	スウェーデン	2,968.47	千スウェーデンクローナ 21,692	829.04	千スウェーデンクローナ 12,600
	メキシコ	70	千メキシコペソ 1,152	1,259	千メキシコペソ 20,397
	インドネシア	836	千インドネシアルピア 801,974	14,158	千インドネシアルピア 13,082,889
	ブラジル	7,958	千ブラジルレアル 3,743	23,143	千ブラジルレアル 10,461
	南アフリカ	2.74	千南アフリカランド 534	46.47	千南アフリカランド 8,827
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	オランダ	661.3	838	2,862.77	4,898
	フランス	306.82	1,202	2,194.43	4,947

		買	付	売	付
		株数	金額	株数	金額
外国	ユーロ	百株	千ユーロ	百株	千ユーロ
	ドイツ	21.07	339	1,707.89	2,841
	スペイン	145.29	56	6,369.08	2,433
	イタリア	1,692.04	1,527	4,063.63	3,414
	オーストリア	572.82	1,839	201.83	765

（注１）金額は受け渡し代金。
（注２）（ ）内は増資割当、株式転換・合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注３）金額の単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合（2023年５月11日～2024年５月10日）

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	15,978,616千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	20,626,989千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.77

（注１）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄（2023年５月11日～2024年５月10日）

買				売			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
WORKDAY INC-CLASS A	6.842	297,984	43,552	NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN	1,408.016	1,001,835	711
ERSTE GROUP BANK AG	57.282	285,939	4,991	ING GROEP NV-CVA	285.451	604,208	2,116
INTUIT INC	4.718	278,611	59,052	HDFC BANK LTD-ADR	65.511	553,023	8,441
PAYLOCITY HOLDING CORP	11.483	265,883	23,154	PAYCOM SOFTWARE INC	15.079	500,385	33,184
FLYWIRE CORP-VOTING	67.818	214,483	3,162	LONDON STOCK EXCHANGE GROUP	30.22	484,238	16,023
FORTNOX AB	250.684	213,973	853	VISA INC.	13.45	477,640	35,512
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A	108.836	206,722	1,899	PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A	257.806	434,769	1,686
フリー	64.2	182,358	2,840	PAYPAL HOLDINGS INC	46.608	417,069	8,948
WORKIVA INC	10.658	150,585	14,128	BANCO SANTANDER SA	636.908	395,613	621
NEXI SPA	119.771	136,483	1,139	PALO ALTO NETWORKS INC	9.685	381,212	39,361

（注１）金額は受け渡し代金。
（注２）金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等（2023年５月11日～2024年５月10日）

期中の利害関係人との取引はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託および投資法人に関する法律第11条第１項に規定されている利害関係人です。

■第一種金融商品取引業又は第二種金融商品取引業を兼務している投資委託業者の自己取引状況（2023年５月11日～2024年５月10日）

期中における当該事項はありません。

■組入資産の明細（2024年５月10日現在）

(1) 国内株式

銘柄		前期末	当期末	
		株数	評価額	
			株数	金額
		千株	千株	千円
情報・通信業（100.0%）				
GMOペイメントゲートウェイ		49.4	37.3	291,574
フリー		－	64.2	189,390
合計	株数・金額	49.4	101.5	480,964
	銘柄数<比率>	1	2	<2.5%>

（注１）銘柄欄の（　）内は国内株式の評価総額に対する各業種の比率。
（注２）合計欄の<　>内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注３）評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国株式

銘柄	前期末	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）	百株	百株	千米ドル	千円	
CYBERARK SOFTWARE LTD/ISRAEL	171.67	130.53	3,045	474,249	ソフトウェア・サービス
BLACKLINE INC	284.52	219.54	1,295	201,641	ソフトウェア・サービス
CROWDSTRIKE HOLDINGS INC - A	129.58	98.53	3,132	487,755	ソフトウェア・サービス
FLYWIRE CORP-VOTING	－	622.4	1,100	171,332	金融サービス
FISERV INC	434.09	312.02	4,826	751,410	金融サービス
GLOBAL PAYMENTS INC	322.69	208.34	2,324	361,916	金融サービス
HDFC BANK LTD-ADR	645.99	－	－	－	銀行
INTERCONTINENTAL EXCHANGE IN	479.17	291.49	3,933	612,470	金融サービス
INTUIT INC	－	35.38	2,217	345,316	ソフトウェア・サービス
LUFAX HOLDING LTD	10,725.73	－	－	－	金融サービス
MERCADOLIBRE INC	31.81	25.37	4,301	669,701	一般消費財・サービス流通・小売り
PALO ALTO NETWORKS INC	210.06	115.76	3,422	532,910	ソフトウェア・サービス
PAYCOM SOFTWARE INC	150.79	－	－	－	商業サービス・用品
PAYLOCITY HOLDING CORP	－	105.39	1,726	268,766	商業サービス・用品
PAYPAL HOLDINGS INC	804.73	350.13	2,256	351,350	金融サービス
PAYONEER GLOBAL INC	7,857.24	4,796.47	2,815	438,377	金融サービス
S&P GLOBAL INC	111.71	84.96	3,672	571,844	金融サービス
SHIFT4 PAYMENTS INC-CLASS A	529.01	458.61	2,798	435,788	金融サービス
SYNCHRONY FINANCIAL	689	－	－	－	金融サービス
VISA INC.	317.44	199.85	5,566	866,723	金融サービス
WEX INC	226.68	185.4	3,863	601,497	金融サービス

銘柄		前期末	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（アメリカ）		百株	百株	千米ドル	千円	
WORKDAY INC-CLASS A		－	63.03	1,550	241,379	ソフトウェア・サービス
WORKIVA INC		325.4	332.12	2,741	426,823	ソフトウェア・サービス
ZSCALER INC		184.48	114.91	1,975	307,662	ソフトウェア・サービス
NU HOLDINGS LTD/CAYMAN ISL-A		－	1,088.36	1,283	199,790	銀行
PAGSEGURO DIGITAL LTD-CL A		3,863.8	1,310.06	1,659	258,438	金融サービス
STONECO LTD-A		3,401.69	2,230.53	3,724	579,980	金融サービス
小計	株数・金額	31,897.28	13,379.18	65,235	10,157,127	
	銘柄数<比率>	22	23	－	<52.2%>	
（香港）				千香港ドル		
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H		5,385	－	－	－	保険
小計	株数・金額	5,385	－	－	－	
	銘柄数<比率>	1	－	－	<－>	
（シンガポール）				千シンガポールドル		
DBS GROUP HOLDINGS LTD		1,446	1,034	3,647	419,733	銀行
小計	株数・金額	1,446	1,034	3,647	419,733	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<2.2%>	
（イギリス）				千英ポンド		
GB GROUP PLC		5,383.81	4,094.22	1,282	249,986	ソフトウェア・サービス
LONDON STOCK EXCHANGE GROUP		645.32	349.61	3,203	624,449	金融サービス
EXPERIAN PLC		1,871.58	1,369.44	4,653	907,171	商業サービス・用品
NETWORK INTERNATIONAL HOLDIN		14,080.16	－	－	－	金融サービス
小計	株数・金額	21,980.87	5,813.27	9,138	1,781,607	
	銘柄数<比率>	4	3	－	<9.1%>	
（スウェーデン）				千スウェーデンクローナ		
NORDNET AB PUBL		2,144.56	1,954.34	38,852	557,141	金融サービス
FORTNOX AB		－	2,329.65	14,821	212,536	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	2,144.56	4,283.99	53,673	769,678	
	銘柄数<比率>	1	2	－	<4.0%>	
（メキシコ）				千メキシコペソ		
GRUPO FINANCIERO BANORTE-O		4,964	3,775	66,156	613,777	銀行
小計	株数・金額	4,964	3,775	66,156	613,777	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<3.2%>	
（インドネシア）				千インドネシアルピア		
BANK CENTRAL ASIA TBK PT		58,342	45,020	42,206,250	409,400	銀行
小計	株数・金額	58,342	45,020	42,206,250	409,400	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<2.1%>	
（ブラジル）				千ブラジルレアル		
CIELO SA		28,314	13,129	7,339	222,082	金融サービス
小計	株数・金額	28,314	13,129	7,339	222,082	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<1.1%>	

銘柄		前期末	当期末			業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
（南アフリカ）		百株	百株	千南アフリカランド	千円	
CAPITEC BANK HOLDINGS LTD		191.59	147.86	33,811	285,032	銀行
小計	株数・金額	191.59	147.86	33,811	285,032	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<1.5%>	
（オランダ）				千ユーロ		
ADYEN NV		16.08	7.97	977	163,990	金融サービス
ING GROEP NV-CVA		3,042.27	848.91	1,361	228,440	銀行
小計	株数・金額	3,058.35	856.88	2,338	392,430	
	銘柄数<比率>	2	2	－	<2.0%>	
（フランス）				千ユーロ		
SOCIETE GENERALE-A		1,772.32	995.74	2,515	422,132	銀行
EDENRED		751.01	595.89	2,768	464,638	金融サービス
WORLDLINE SA		955.91	－	－	－	金融サービス
小計	株数・金額	3,479.24	1,591.63	5,283	886,770	
	銘柄数<比率>	3	2	－	<4.6%>	
（ドイツ）				千ユーロ		
HYPOPORT SE		194.1	126.65	3,665	615,139	金融サービス
FLATEXDEGIRO AG		1,619.37	－	－	－	金融サービス
小計	株数・金額	1,813.47	126.65	3,665	615,139	
	銘柄数<比率>	2	1	－	<3.2%>	
（スペイン）				千ユーロ		
BANCO SANTANDER SA		10,143.49	3,919.7	1,869	313,791	銀行
小計	株数・金額	10,143.49	3,919.7	1,869	313,791	
	銘柄数<比率>	1	1	－	<1.6%>	
（イタリア）				千ユーロ		
NEXI SPA		5,069	3,638.64	2,207	370,434	金融サービス
FINECOBANK SPA		3,657.45	2,716.22	4,071	683,338	銀行
小計	株数・金額	8,726.45	6,354.86	6,278	1,053,773	
	銘柄数<比率>	2	2	－	<5.4%>	
（オーストリア）				千ユーロ		
ERSTE GROUP BANK AG		－	370.99	1,688	283,297	銀行
小計	株数・金額	－	370.99	1,688	283,297	
	銘柄数<比率>	－	1	－	<1.5%>	
ユーロ計	株数・金額	27,221	13,220.71	21,123	3,545,202	
	銘柄数<比率>	10	9	－	<18.2%>	
合計	株数・金額	181,886.3	99,803.01	－	18,203,643	
	銘柄数<比率>	43	42	－	<93.5%>	

（注１）邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
（注２）小計欄の<　>内は純資産総額に対する各通貨別評価額の比率。
（注３）合計欄の<　>内は純資産総額に対する評価額の比率。
（注４）評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

（2024年５月10日現在）

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	18,684,607	95.9
コール・ローン等、その他	789,509	4.1
投資信託財産総額	19,474,116	100.0

（注１）評価額の単位未満は切捨て。
（注２）期末における外貨建て資産（18,917,191千円）の投資信託財産総額（19,474,116千円）に対する比率は、97.1％です。
（注３）外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは、１米ドル＝155.70円、１シンガポールドル＝115.06円、１英ポンド＝194.95円、１スウェーデンクローナ＝14.34円、１メキシコペソ＝9.277円、100インドネシアルピア＝0.97円、１ブラジルレアル＝30.26円、１南アフリカランド＝8.43円、１ユーロ＝167.83円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2024年５月10日現在）

項目	当期末
(A) 資産	19,520,782,368円
コール・ローン等	777,680,053
株式(評価額)	18,684,607,418
未収入金	46,665,600
未収配当金	11,829,297
(B) 負債	46,681,740
未払金	46,681,740
(C) 純資産総額(A－B)	19,474,100,628
元本	10,842,445,105
次期繰越損益金	8,631,655,523
(D) 受益権総口数	10,842,445,105口
１万口当り基準価額(C／D)	17,961円

１．期首元本額　16,781,203,250円
　　期中追加設定元本額　377,297,562円
　　期中一部解約元本額　6,316,055,707円
２．１口当たりの純資産額　1.7961円
３．当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額
　　アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替なし）　9,806,069,955円
　　アクサ　ＩＭ・グローバル・フィンテック関連株式ファンド（為替あり）　1,036,375,150円
　　期末元本合計　10,842,445,105円

■損益の状況

（2023年５月11日～2024年５月10日）

項目	当期
(A) 配当等収益	361,513,453円
受取配当金	321,704,557
受取利息	39,894,064
支払利息	△85,168
(B) 有価証券売買損益	5,408,437,944
売買益	7,017,775,002
売買損	△1,609,337,058
(C) その他費用	△7,669,036
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	5,762,282,361
(E) 前期繰越損益金	6,270,615,017
(F) 解約差損益金	△3,643,944,293
(G) 追加信託差損益金	242,702,438
(H) 計　(D＋E＋F＋G)	8,631,655,523
次期繰越損益金(H)	8,631,655,523

（注１）損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
（注２）損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
（注３）損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。